

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第4グループ(片平・岡上)	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人川崎児童健全育成会 ・代表者名 理事長 菅原 敬子 ・住所 川崎市麻生区岡上120-4	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区役所こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 片平こども文化センター ①年間延べ利用者数 31,237人 ②年間延べ利用団体数 842団体</p> <p>2 片平小学校わくわくプラザ ①登録者数 335人 ②年間延べ利用者数 17,406人</p> <p>3 栗木台小学校わくわくプラザ ①登録者数 457人 ②年間延べ利用者数 17,633人</p> <p>4 はるひ野小学校わくわくプラザ ①登録者数 469人 ②年間延べ利用者数 18,831人</p> <p>1 岡上こども文化センター ①年間延べ利用者数 20,269人 ②年間延べ利用団体数 291団体</p> <p>2 岡上小学校わくわくプラザ ①登録者数 144人 ②年間延べ利用者数 6,343人</p>
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 96,807,833 片平地域訓練室電気代等負担 223,000 ----- 合計 97,030,833</p> <p>2 支出 人件費 79,879,901 管理費 4,068,715 事務経費 12,976,428 その他経費 ----- 合計 96,925,044</p> <p>3 差引 105,789</p>
サービス向上の取組	サービスとは何かというものを理解する。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	2	4
	事業成果	こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか	5	3	3
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由)乳幼児を対象とした行事の取り組みについては、「岡っこサロン」を実施していたが、計画していた「赤ちゃん体操講座」や「手作りグッズ発表会」等の他の事業が未実施となった。 こども文化センターの利用者が第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度平均値)と比較して、5.8%の増加であった。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか			
(評価の理由)金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由)利用者ニーズについては、意見箱の設置、子ども運営会議、町内会、PTAの会合での聞き取り等のほか、ホームページ上での問い合わせの受付を実施し、地域人材からの人形劇実施の申し入れが、館での実施につながった。また、常勤職員のミーティングや法人役員会においてニーズの反映方法を検討していた。					
組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	3	3
		職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか			
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由)飲食物の衛生管理について、こども文化センターに食品衛生責任者を配置し、職員への指導を行っていた。栗木台小学校わくわくプラザにおいては、専門知識を有する知的障害者福祉司任用資格者や元小学校養護教諭を配置し、直接児童の対応を行っていた。市主催の研修への参加も多数あり、職員のスキルアップを図るため、概ね提案どおりの研修が実施され、個人情報等の取扱については、情報漏えい及び紛失等の事実はなかった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のための体制(マニュアル整備等)がとられているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		施設の防犯のための工夫がされているか			
災害への対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3	
	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか				
(評価の理由)「児童館における安全対策ハンドブック」を全職員に配布し、職員同士で安全懸念情報の共有や不審者対策の対応を行っていた。屋外の滑りやすいタイルについて、防滑テープの貼付による転倒防止策を講じていた。					

4. 総合評価

評価点合計	61	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

乳幼児を対象とした行事の取り組みについては、計画していた「赤ちゃん体操講座」や「手作りグッズ発表会」等の事業が未実施となった。ホームページ上での問い合わせの受付を実施し、人形劇の実施につながるなど、問い合わせ等の窓口の充実の評価できる。飲食物の衛生管理について、こども文化センターに食品衛生責任者を配置し、職員への指導を行っていた。また、栗木台小学校わくわくプラザにおいては、専門知識を有する知的障害者福祉司任用資格者や元小学校養護教諭を配置し、直接児童の対応を行っていたことは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。乳幼児親子を対象とした事業について、実施方法を工夫するなど、充実を図ること。また、災害への確実な対応を図るため、防災対策のさらなる充実を努めていただきたい。
東日本大震災の影響により未実施となっている外部機関との連携について、連携が可能な外部機関に変更するなど、実施に向けた検討を行うこと。